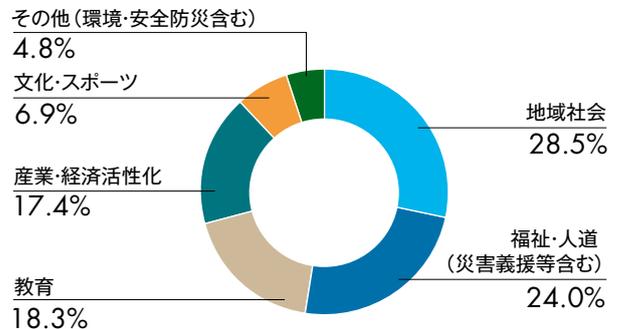


社会貢献活動状況(2011年度)

川崎重工グループは、各種寄付金・災害義援金のほか、自主プログラムとして、企業ミュージアム「カワサキワールド」の運営と、主に子供を対象とした各種のイベント開催、文化・スポーツへの協賛、地域経済振興への協力、企業の森づくり活動などを行っています。

2011年度は、前年度に引き続いて東日本大震災被災地への支援を継続したほか、初開催となった「神戸マラソン2011」ゼッケンスポンサーへの協賛、小学生向けの科学イベントへの参加など、新たな分野にも積極的に活動を進めました。

2011年度社会貢献支出状況



世界の子供へポリオワクチンを! —エコキャップ運動でCO₂削減—



地球環境部
ふるつか ひかる
古塚 光

当社は、「エコキャップ運動」に参加しています。この運動はペットボトルのキャップを分別回収し、再資源化業者へ売却することによりCO₂の発生を抑制し(キャップ400個で3.15kgのCO₂が発生)、その売却した利益で世界の子供たちにワクチンを届けるというものです(ポリオワクチン一人分はキャップ800個)。

この活動を知り、これなら会社で協力できるかも!と提案しました。まずは地球環境部内で2009年から集めはじめました。

この活動の趣旨が社内に浸透するにつれて参加者が増え、自宅から袋いっぱいキャップを持ってきてくれる方もいます。皆様の協力を得て、神戸本社、神戸工場などで累計約40万個をエコキャップ推進協会に送付しました。これは、CO₂削減:3,133kg、ワクチン497人分に相当する量です。

今後もCO₂を削減するとともに、世界の子供たちにワクチンを届けられるよう回収運動を継続していく予定です。



回収したキャップ



タイ洪水被災者支援(KMT)

2011年後半、タイは大規模な洪水に見舞われました。タイにおけるモーターサイクルの製造・販売拠点であるKawasaki Motors Enterprise (Thailand) Co.,Ltd. (KMT)は、洪水による直接的な損害を被ることはありませんでしたが、当社グループは、タイ国内の洪水被害に対し、タイ赤十字社に400万パーツ(約1,000万円)、タイ投資委員会に400万パーツ(約1,000万円)寄付したほか、支援物資として当社製多用途四輪車MULEを10台寄贈するなど、総額3,000万円相当の支援を行いました。

また、カワサキのモーターサイクルのユーザー有志(延べ40名)が、モーターサイクルの機動性を活かして、ボランティアで被災住民の支援活動を展開しました。

KMTは、スペアパーツ・オイル・ガソリン等を無償提供するとともに、整備スタッフ3名を現場に派遣し、冠水地域を走るボランティアライダーをサポートしました。



一方、被災されたお客様に対しても、被災したモーターサイクルの無償修理やスペアパーツの割引販売を実施しました。



ボランティアライダーの皆さん

「神戸マラソン2011」ゼッケンスポンサー

2011年11月20日に神戸で初開催となった「神戸マラソン2011」で、男子ゼッケンスポンサーとして協賛しました。また、社内の有志86名が給水ボランティアとして、ランナーたちを沿道から支援しました。



給水ボランティア

ボランティアで参加しました

レース参加の抽選で外れてしまったのですが、川崎重工の団体ボランティアを募集していることを知り参加しました。裏方に初めて参加してみて、現役選手時代には知らなかったボランティアの大変さと声援の楽しさを感じました。



川重明石エンジニアリング
ふなど きしげ
船戸 基成

宮城県で里山整備活動をスタート!

—自然共生社会の実現へ—

当社グループは、地域社会との共生を目指して森林の保全整備にも取り組んでいます。2007年から高知県、2008年から兵庫県で従業員参加の森づくり活動を実施しており、2011年は国内3番目の活動地として宮城県で里山整備活動を開始しました。

2011年9月、仙台地区の当社グループ従業員が森林ボランティア団体「みやぎ里山整備クラブ」とともに、仙台市近郊で下草刈り、枝打ち、間伐を行いました。同クラブのメンバーから森林保全の意義や整備要領の説明を受けて作業を進めると、薄暗かった林が明るくなり、森林の再生に貢献したことが体感できる活動になりました。

宮城県での森林整備は、震災被災地区での地域貢献活動として、今後も継続して実施していきます。



里山整備活動

「マイヘリコプターをつくろう!」

—Kansai Science Yardに参加—

春分の日の暖かい日差しの中、(株)リバネス主催の、関西地域の小学生を対象にした科学技術体験イベント「Kansai Science Yard」に、「マイヘリコプターをつくろう!」というバルサ材で模型ヘリをつくる企画で参加しました。

実際にヘリコプター本体とローターを組み立てながら、ローターの「揚力(浮き上がらせる力)」を測定したり、ヘリコプター本体の回転を止める技などを紹介し、



マイヘリコプター製作の様子

子供たちに「空へのあこがれ」「あこがれから生まれる科学への興味」そして「ものづくりの楽しさ」を体験してもらいました。

先生として参加しました

ローターの揚力実験、形になっていくヘリに子供たちがどんどん笑顔になっていきました。「科学の力」と「ものづくりの楽しさ」を体験したこの子たちの中からエンジニアが生まれたいいなと思えるイベントでした。



航空宇宙カンパニー 企画本部 企画部
とひなが よしなり たざの けん
(左から) 飛永 佳成 田澤 元

地域社会交流会 (明石工場)

勤労感謝の祝日を利用して近隣地域の小学生とその家族計201名をお招きし、バスツアーでの明石工場見学と、企業ミュージアム「カワサキワールド」の見学を楽しんでいただきました。

工場では、工場事務所長が子供たちに「おじさんはね〜」という語り口で工場の仕事や歴史について紹介し、また保護者の方々には「地域とともに発展する工場でありたい」旨のご挨拶をしました。お昼は工場の食堂で食べていただきました。

カワサキワールドでは、「何がいちばん面白かった?」というインタビューに、低学年の男の子が「新幹線です!」と一生懸命に答えてくれました。



明石交流会